

表9: ICD-10診断による主要な精神障害の生涯有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=683)		35-44歳 (N=617)		45-54歳 (N=785)		55-64歳 (N=844)		65歳以上 (N=1205)		合計 (N=4134)		χ <sup>2</sup>
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
<b>気分(感情)障害</b>													
重症うつ病エピソード	3.8	26	3.2	20	3.1	24	3.1	26	1.2	15	2.7	111	14.5 **
中等うつ病エピソード	3.2	22	2.4	15	3.8	30	2.8	24	1.4	17	2.6	108	12.6 *
軽症うつ病エピソード	2.2	15	1.8	11	1.5	12	1.1	9	0.7	8	1.3	55	9.6 *
全てのうつ病エピソード	9.2	63	7.5	46	8.4	66	7.0	59	3.3	40	6.6	274	33.6 **
躁病エピソード	1.3	9	0.2	1	0.5	4	0.5	4	0.2	2	0.5	20	13.7 **
軽躁病	0.1	1	0.2	1	0.3	2	0.0	0	0.1	1	0.1	5	2.5
気分変調症	0.9	6	0.8	5	0.9	7	1.5	13	0.8	10	1.0	41	3.3
いずれかの気分(感情)障害	10.4	71	8.1	50	9.7	76	7.9	67	3.8	46	7.5	310	37.8 **
<b>神経症性・ストレス性障害</b>													
パニック障害	1.2	8	1.8	11	1.7	13	1.2	10	0.8	10	1.3	52	4.2
パニック障害をともなわない広場恐怖	2.2	15	1.5	9	1.0	8	0.4	3	0.2	3	0.9	38	23.2 **
社会恐怖	3.5	24	2.6	16	2.0	16	1.3	11	0.5	6	1.8	73	27.0 **
特定の恐怖症	6.6	45	6.0	37	5.5	43	4.4	37	3.6	43	5.0	205	11.2 *
全般性不安障害	3.4	23	1.8	11	1.9	15	2.5	21	1.2	14	2.0	84	11.8 *
外傷後ストレス障害	2.5	17	1.6	10	1.4	11	2.5	12	0.4	5	1.3	55	15.2 **
いずれかの神経症性・ストレス性障害	13.5	92	11.3	70	9.9	78	2.5	73	5.7	69	9.2	382	36.4 **
<b>精神作用物質による精神および行動上の障害</b>													
有害な使用-アルコール	4.2	29	3.2	20	3.7	29	4.6	39	2.2	27	3.5	144	10.2 *
アルコール依存症	0.6	4	0.6	4	0.9	7	0.7	6	0.4	5	0.6	26	1.9
有害な使用-薬物	0.4	3	0.2	1	0.1	1	0.1	1	0.0	0	0.1	6	5.9
薬物依存症	0.1	1	0.0	0	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.7
いずれかの精神作用物質による障害	4.8	33	4.1	25	4.6	36	5.1	43	2.7	32	4.1	169	9.9 *
いずれかの精神障害	21.7	148	19.9	123	20.3	159	17.3	146	10.6	128	17.0	704	54.9 **

\* p < 0.05, \*\* p < 0.01, χ<sup>2</sup>検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

注) 重みづけを考慮していないため、外傷後ストレス障害、精神作用物質による精神および行動上の障害全て、いずれかの精神障害の頻度は過小評価している可能性がある。

表10:ICD-10診断による主要な精神障害の12カ月有病率(性別)

	男性(1871名)		女性(2263名)		合計(4134名)		$\chi^2$
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分(感情)障害							
重症うつ病エピソード	0.4	8	1.4	32	1.0	40	10.4 **
中等うつ病エピソード	0.5	9	1.2	27	0.9	36	6.0 *
軽症うつ病エピソード	0.1	2	0.4	9	0.3	11	3.3
全てのうつ病エピソード	1.0	19	3.0	68	2.1	87	19.7 **
躁病エピソード	0.2	4	0.3	6	0.2	10	0.1
軽躁病	0.1	1	0.1	2	0.1	3	0.2
気分変調症	0.3	6	0.5	11	0.4	17	0.7
いずれかの気分(感情)障害	1.4	27	3.4	77	2.5	104	16.0 **
神経症性・ストレス性障害							
パニック障害	0.4	8	0.8	17	0.6	25	1.8
パニック障害をともなわない広場恐怖	0.4	8	0.6	13	0.5	21	0.4
社会恐怖	0.9	16	0.7	15	0.7	31	0.5
特定の恐怖症	2.5	47	3.5	80	3.1	127	3.6
全般性不安障害	0.7	13	1.1	25	0.9	38	1.9
外傷後ストレス障害	0.4	7	0.9	21	0.7	28	4.7 *
いずれかの神経症性・ストレス性障害	4.5	84	6.1	139	5.4	223	5.5 *
精神作用物質による精神および行動上の障害							
有害な使用-アルコール	0.5	10	0.2	5	0.4	15	2.8
アルコール依存症	0.4	7	0.0	0	0.2	7	8.5 **
有害な使用-薬物	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.8
薬物依存症	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.8
いずれかの精神作用物質による障害	0.9	17	0.3	6	0.6	23	7.7 **
いずれかの精神障害	6.1	115	8.6	194	7.5	309	8.7 **

\* p < 0.05, \*\* p < 0.01,  $\chi^2$ 検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

注)重みづけを考慮していないため、外傷後ストレス障害、精神作用物質による精神および行動上の障害全て、いずれかの精神障害の頻度は過小評価している可能性がある。

表 11: ICD-10 診断による主要な精神障害の 12 カ月有病率 (年齢層別)

	20-34 歳 (N=683)		35-44 歳 (N=617)		45-54 歳 (N=785)		55-64 歳 (N=844)		65 歳以上 (N=1205)		合計 (N=4134)		$\chi^2$
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
<b>気分(感情)障害</b>													
重症うつ病エピソード	2.3	16	0.3	2	1.1	9	0.9	8	0.4	5	1.0	40	20.2 **
中等症うつ病エピソード	1.9	13	1.0	6	1.3	10	0.6	5	0.2	2	0.9	36	17.7 **
軽症うつ病エピソード	0.3	2	0.5	3	0.3	2	0.5	4	0.0	0	0.3	11	5.7
全てのうつ病エピソード	4.5	31	1.8	11	2.7	21	2.0	17	0.6	7	2.1	87	34.8 **
躁病エピソード	0.6	4	0.2	1	0.3	2	0.1	1	0.2	2	0.2	10	4.3
軽躁病	0.0	0	0.2	1	0.3	2	0.0	0	0.0	0	0.1	3	6.3
気分変調症	0.4	3	0.3	2	0.8	6	0.6	5	0.1	1	0.4	17	6.4
いずれかの気分(感情)障害	4.8	33	2.1	13	3.6	28	2.4	20	0.8	10	2.5	104	32.9 **
<b>神経症性・ストレス性障害</b>													
パニック障害	0.7	5	0.6	4	1.0	8	0.1	1	0.6	7	0.6	25	5.8
パニック障害をともなわなない広場恐怖	1.5	10	0.6	4	0.4	3	0.2	2	0.2	2	0.5	21	16.9 **
社会恐怖	1.6	11	1.1	7	0.8	6	0.4	3	0.3	4	0.7	31	12.6 *
特定の恐怖症	4.0	27	4.2	26	3.4	27	2.6	22	2.1	25	3.1	127	9.5
全般性不安障害	1.3	9	1.3	8	1.1	9	0.8	7	0.4	5	0.9	38	6.0
外傷後ストレス障害	1.0	7	1.5	9	0.6	5	0.5	4	0.2	3	0.7	28	10.7 *
いずれかの神経症性・ストレス性障害	7.6	52	7.3	45	6.2	49	4.0	34	3.6	43	5.4	223	23.0 **
<b>精神作用物質による精神および行動上の障害</b>													
有害な使用-アルコール	1.2	8	0.3	2	0.1	1	0.1	1	0.2	3	0.4	15	15.4 **
アルコール依存症	0.1	1	0.3	2	0.1	1	0.2	2	0.1	1	0.2	7	1.7
有害な使用-薬物	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.1
薬物依存症	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.1
いずれかの精神作用物質による障害	1.5	10	0.6	4	0.3	2	0.4	3	0.3	4	0.6	23	13.3 *
いずれかの精神障害	11.4	78	9.1	56	9.2	72	5.9	50	4.4	53	7.5	309	40.4 **

\*  $p < 0.05$ , \*\*  $p < 0.01$ ,  $\chi^2$  検定 (人数が 5 人以下のセルを含む比較は参考値)

注) 重みづけを考慮していないため、外傷後ストレス障害、精神作用物質による精神および行動上の障害全て、いずれかの精神障害の頻度は過小評価している可能性がある。

表12: ICD-10診断による主要な精神障害の30日有病率(性別)

	男性(1871名)		女性(2263名)		合計(4134名)		χ <sup>2</sup>
	%	人数	%	人数	%	人数	
気分(感情)障害							
重症うつ病エピソード	0.1	2	0.2	5	0.2	7	0.8
中等うつ病エピソード	0.0	0	0.1	2	0.0	2	1.7
軽症うつ病エピソード	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.8
全てのうつ病エピソード	0.1	2	0.4	8	0.2	10	2.6
躁病エピソード	0.1	1	0.2	4	0.1	5	1.3
軽躁病	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.8
気分変動症	0.1	2	0.2	4	0.1	6	0.3
いずれかの気分(感情)障害	0.3	5	0.7	16	0.5	21	3.9 *
神経症性・ストレス性障害							
パニック障害	0.3	5	0.2	5	0.2	10	0.1
パニック障害をともなわない広場恐怖	0.3	6	0.4	8	0.3	14	0.0
社会恐怖	0.7	14	0.4	9	0.6	23	2.3
特定の恐怖症	2.2	41	3.0	69	2.7	110	2.9
全般性不安障害	0.2	4	0.3	6	0.2	10	0.1
外傷後ストレス障害	0.1	2	0.3	7	0.2	9	1.9
いずれかの神経症性・ストレス性障害	3.3	62	4.0	91	3.7	153	1.4
精神作用物質による精神および行動上の障害							
有害な使用-アルコール	0.2	4	0.1	2	0.1	6	1.1
アルコール依存症	0.1	1	0.0	0	0.0	1	1.2
有害な使用-薬物	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-
薬物依存症	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-
いずれかの精神作用物質による障害	0.3	5	0.1	2	0.2	7	1.9
いずれかの精神障害	3.7	69	4.5	102	4.1	171	1.7

\* p < 0.05, \*\* p < 0.01, χ<sup>2</sup>検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

注) 重みづけを考慮していないため, 外傷後ストレス障害, 精神作用物質による精神および行動上の障害全て, いずれかの精神障害の頻度は過小評価している可能性がある。

表13: ICD-10診断による主要な精神障害の30日有病率(年齢層別)

	20-34歳 (N=683)		35-44歳 (N=617)		45-54歳 (N=785)		55-64歳 (N=844)		65歳以上 (N=1205)		合計 (N=4134)		χ <sup>2</sup>
	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	
<b>気分(感情)障害</b>													
重症うつ病エピソード	0.1	1	0.0	0	0.3	2	0.4	3	0.1	1	0.2	7	3.7
中等症うつ病エピソード	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.0	0	0.1	1	0.0	2	2.4
軽症うつ病エピソード	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.0	0	0.0	1	3.9
全てのうつ病エピソード	0.1	1	0.0	0	0.4	3	0.5	4	0.2	2	0.2	10	4.6
躁病エピソード	0.3	2	0.2	1	0.1	1	0.1	1	0.0	0	0.1	5	3.2
軽躁病	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.3
気分変調症	0.0	0	0.2	1	0.5	4	0.1	1	0.0	0	0.1	6	10.0 *
いずれかの気分(感情)障害	0.4	3	0.3	2	1.0	8	0.7	6	0.2	2	0.5	21	8.0
<b>神経症性・ストレス性障害</b>													
パニック障害	0.3	2	0.3	2	0.5	4	0.0	0	0.2	2	0.2	10	4.9
パニック障害をともなわない広場恐怖	1.2	8	0.3	2	0.1	1	0.2	2	0.1	1	0.3	14	17.7 **
社会恐怖	1.2	8	1.0	6	0.4	3	0.2	2	0.3	4	0.6	23	9.7 *
特定の恐怖症	2.9	20	3.4	21	3.2	25	2.4	20	2.0	24	2.7	110	4.7
全般性不安障害	0.6	4	0.5	3	0.0	0	0.2	2	0.1	1	0.2	10	8.0
外傷後ストレス障害	0.4	3	0.8	5	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.2	9	16.3 **
いずれかの神経症性・ストレス性障害	5.1	35	5.0	31	4.2	33	2.7	23	2.6	31	3.7	153	14.0 **
<b>精神作用物質による精神および行動上の障害</b>													
有害な使用-アルコール	0.4	3	0.2	1	0.0	0	0.1	1	0.1	1	0.1	6	5.6
アルコール依存症	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.0	0	0.0	1	3.9
有害な使用-薬物	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-
薬物依存症	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	-
いずれかの精神作用物質による障害	0.4	3	0.2	1	0.0	0	0.2	2	0.1	1	0.2	7	5.0
いずれかの精神障害	5.4	37	5.0	31	5.1	40	3.4	29	2.8	34	4.1	171	12.2 *

\* p < 0.05, \*\* p < 0.01, χ<sup>2</sup>検定(人数が5人以下のセルを含む比較は参考値)

注) 重みづけを考慮していないため, 外傷後ストレス障害, 精神作用物質による精神および行動上の障害全て, いずれかの精神障害の頻度は過小評価している可能性がある。

表14: 基本属性とDSM-IV診断による精神障害の生涯診断との関連・オッズ比と95%信頼区間

	人数	いずれかの気分障害			いずれかの不安障害			いずれかの物質関連障害			いずれかの精神障害		
		オッズ比	下限	上限	オッズ比	下限	上限	オッズ比	下限	上限	オッズ比	下限	上限
性別													
男性	(1733)	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
女性	(2118)	2.39	1.79	3.18	1.53	1.12	2.10	0.19	0.12	0.30	0.89	0.89	1.34
年齢層													
20-34歳	(638)	1.76	1.02	3.02	3.13	1.69	5.77	2.14	0.99	4.63	2.19	1.47	3.24
35-44歳	(585)	2.10	1.26	3.49	2.49	1.36	4.54	1.89	0.92	3.91	2.13	1.46	3.09
45-54歳	(747)	2.34	1.44	3.81	2.68	1.52	4.71	2.05	1.05	4.01	2.27	1.59	3.22
55-64歳	(791)	2.52	1.62	3.92	2.44	1.46	4.08	2.20	1.21	4.01	2.20	1.60	3.02
65歳以上	(1090)	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
婚姻状態													
結婚している(専業主婦含む)	(2811)	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
一度も結婚したことはない	(516)	1.84	1.27	2.67	1.34	0.87	2.06	0.85	0.48	1.52	1.21	0.90	1.62
死別・別居・離婚	(524)	2.17	1.54	3.05	2.04	1.38	3.03	1.31	0.74	2.33	1.94	1.49	2.53
学歴													
高卒未満	(1128)	0.31	0.19	0.48	0.83	0.50	1.38	0.89	0.51	1.53	0.58	0.42	0.80
高卒	(1400)	0.65	0.47	0.90	0.86	0.57	1.28	0.92	0.59	1.44	0.74	0.58	0.95
短大・専門学校	(681)	0.79	0.55	1.13	1.18	0.77	1.81	1.42	0.85	2.38	1.01	0.76	1.33
大卒以上	(642)	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
雇用状態													
就業中	(2399)	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-
学生	(40)	1.33	0.52	3.37	1.67	0.65	4.27	1.22	0.33	4.47	1.11	0.52	2.37
家事	(786)	1.14	0.81	1.61	1.05	0.70	1.58	0.96	0.44	2.06	0.95	0.72	1.25
引退	(439)	1.23	0.72	2.12	0.91	0.47	1.75	0.81	0.42	1.57	0.87	0.59	1.28
その他(求職中、休職中、就業不能など)	(187)	1.54	0.92	2.55	1.56	0.89	2.72	1.28	0.60	2.74	1.30	0.87	1.93

[注] 経験あり = 1, n = 3,851

表15: 基本属性とDSM-IV診断による精神障害の12ヶ月診断との関連: オッズ比と95%信頼区間

	人数	いずれかの気分障害		いずれかの不安障害		いずれかの物質関連障害		いずれかの精神障害	
		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限
性別									
男性	(1733)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
女性	(2118)	1.93	1.22 3.06	1.67	1.10 2.54	0.49	0.17 1.43	1.49	1.10 2.03
年齢層									
20-34歳	(638)	3.16	1.30 7.71	2.48	1.11 5.56	3.00	0.37 24.04	2.60	1.44 4.69
35-44歳	(585)	2.60	1.07 6.30	2.93	1.36 6.32	2.50	0.34 18.44	2.59	1.46 4.57
45-54歳	(747)	2.37	1.00 5.62	3.26	1.58 6.74	0.90	0.10 7.80	2.43	1.41 4.19
55-64歳	(791)	2.14	0.97 4.73	1.94	0.96 3.92	1.25	0.20 7.65	1.77	1.06 2.97
65歳以上	(1090)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
婚姻状態									
結婚している(事実婚含む)	(2811)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
一度も結婚したことはない	(516)	1.77	1.01 3.11	1.64	0.96 2.81	1.19	0.30 4.65	1.53	1.03 2.28
死別・別居・離婚	(524)	1.76	0.95 3.23	1.58	0.92 2.70	0.66	0.08 5.39	1.54	1.03 2.32
学歴									
高卒未満	(1128)	0.33	0.15 0.71	0.99	0.50 1.96	1.28	0.26 6.21	0.74	0.45 1.20
高卒	(1400)	0.53	0.32 0.89	1.14	0.67 1.95	1.13	0.34 3.80	0.83	0.57 1.20
短大・専門学校	(681)	0.67	0.38 1.15	1.39	0.79 2.45	0.66	0.15 2.89	0.95	0.64 1.43
大卒以上	(642)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
雇用状態									
就業者	(2399)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
学生	(40)	0.79	0.18 3.52	2.81	0.98 8.01	5.54	0.89 34.63	1.43	0.56 3.63
家事	(786)	1.27	0.71 2.26	1.45	0.89 2.37	0.46	0.05 4.28	1.16	0.79 1.71
引退	(439)	1.55	0.64 3.75	0.46	0.14 1.56	1.07	0.16 7.04	0.70	0.34 1.41
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	(187)	1.51	0.67 3.39	1.60	0.78 3.31	1.12	0.14 9.09	1.14	0.62 2.07

注) 経験あり = 1, n = 3,851

表16. 基本属性とICD-10診断による精神障害の生涯診断との関連:オッズ比(OR)と95%信頼区間(95%CI)

	人数	いずれかの気分障害		いずれかの不安障害		いずれかの物質関連障害		いずれかの精神障害	
		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限
性別									
男性	(1733)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
女性	(2118)	2.33	1.71 3.18	1.36	1.04 1.78	0.18	0.11 0.30	1.08	0.88 1.32
年齢層									
20-34歳	(638)	1.93	1.07 3.47	2.80	1.68 4.66	2.28	1.07 4.86	2.17	1.46 3.23
35-44歳	(585)	2.07	1.18 3.63	2.30	1.40 3.77	1.90	0.92 3.90	2.14	1.47 3.11
45-54歳	(747)	2.70	1.59 4.57	2.11	1.32 3.38	2.05	1.05 3.98	2.28	1.60 3.23
55-64歳	(791)	2.51	1.55 4.07	1.90	1.24 2.90	2.16	1.19 3.92	2.00	1.45 2.75
65歳以上	(1090)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
婚姻状態									
結婚している(事実婚含む)	(2811)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
一度も結婚したことはない	(516)	1.95	1.31 2.90	1.02	0.69 1.49	0.82	0.46 1.46	1.18	0.88 1.58
死別・別居・離婚	(524)	2.33	1.62 3.35	2.45	1.77 3.39	1.40	0.80 2.45	2.18	1.68 2.84
学歴									
高卒未満	(1128)	0.37	0.22 0.61	0.71	0.46 1.09	0.91	0.53 1.57	0.65	0.47 0.89
高卒	(1400)	0.71	0.50 1.02	0.84	0.60 1.17	0.92	0.59 1.45	0.79	0.61 1.02
短大・専門学校	(681)	0.87	0.59 1.28	1.04	0.72 1.49	1.47	0.88 2.45	1.08	0.81 1.43
大卒以上	(642)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
雇用状態									
就業者	(2399)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
学生	(40)	1.57	0.61 4.01	2.62	1.19 5.74	1.18	0.32 4.32	1.72	0.85 3.48
家事	(786)	1.12	0.77 1.63	0.92	0.64 1.31	0.95	0.44 2.04	0.84	0.64 1.12
引退	(439)	1.29	0.72 2.31	1.00	0.59 1.68	0.86	0.45 1.63	1.02	0.70 1.48
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	(187)	1.75	1.04 2.96	1.70	1.06 2.71	1.26	0.59 2.70	1.39	0.94 2.06

(注) 経験あり = 1, n = 3,851



表17: 基本属性とICD-10診断による精神障害の12ヶ月診断との関連: オッズ比と95%信頼区間

性別	人数	いずれかの気分障害		いずれかの不安障害		いずれかの物質関連障害		いずれかの精神障害	
		オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限	オッズ比	95% 信頼区間 下限 上限
男性	(1733)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
女性	(2118)	2.15	1.27 3.64	1.31	0.93 1.85	0.43	0.15 1.25	1.40	1.04 1.88
年齢層									
20-34歳	(638)	4.10	1.41 11.91	1.90	0.98 3.66	3.91	0.53 28.89	2.24	1.26 4.00
35-44歳	(585)	2.34	0.77 7.08	2.10	1.13 3.91	2.49	0.34 18.02	2.14	1.23 3.74
45-54歳	(747)	3.95	1.44 10.82	2.07	1.15 3.74	0.88	0.10 7.60	2.35	1.39 3.97
55-64歳	(791)	3.35	1.31 8.54	1.36	0.77 2.40	1.23	0.20 7.50	1.61	0.98 2.65
65歳以上	(1090)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
婚姻状態									
結婚している(事実婚含む)	(2811)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
一度も結婚したことばない	(516)	2.20	1.17 4.13	1.21	0.75 1.95	0.91	0.24 3.43	1.41	0.94 2.10
死別・別居・離婚	(524)	1.88	0.95 3.72	1.77	1.14 2.75	0.65	0.08 5.22	1.70	1.15 2.52
学歴									
高卒未満	(1128)	0.48	0.21 1.12	0.59	0.33 1.02	1.30	0.28 6.17	0.57	0.35 0.92
高卒	(1400)	0.66	0.36 1.20	0.79	0.51 1.20	1.12	0.34 3.71	0.69	0.48 1.00
短大・専門学校	(681)	0.81	0.43 1.52	1.09	0.69 1.70	0.91	0.23 3.57	0.93	0.63 1.36
大卒以上	(642)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
雇用状態									
就業中	(2399)	1.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-
学生	(40)	0.97	0.22 4.36	2.97	1.19 7.40	4.60	0.76 27.98	2.06	0.88 4.79
家事	(786)	1.24	0.64 2.37	1.11	0.70 1.75	0.44	0.05 4.11	1.07	0.72 1.59
引退	(439)	1.20	0.40 3.62	0.97	0.48 1.95	1.01	0.15 6.63	0.93	0.50 1.73
その他(求職中, 休職中, 就業不能など)	(187)	1.59	0.66 3.82	2.13	1.21 3.75	1.10	0.14 8.80	1.77	1.05 2.97

(注) 総数あり = 1, n = 3,851

表18:こころの健康に関する受診・相談行動の頻度:

	これまで		過去12ヶ月間		過去30日間	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
<b>受診・相談先</b>						
精神科医	4.3%	177	1.5%	60	1.0%	41
一般医	4.5%	184	1.8%	76	1.0%	42
医師合計	8.0%	330	3.0%	126	2.0%	81
その他の専門家	1.8%	73	0.6%	23	0.2%	10
その他の相談先	2.0%	84	0.6%	23	0.2%	10
相談先合計	10.3%	425	3.8%	156	2.3%	94
<b>上記以外の相談先</b>						
インターネット	0.6%	24	0.2%	10	0.1%	3
自助グループ	1.4%	56	0.4%	18	0.2%	8
電話相談	1.0%	40	0.3%	11	0.1%	5

注:受診・相談先は以下のとおり。精神科医＝精神科医。一般医＝一般開業医あるいはかかりつけ医、循環器医、産婦人科医、泌尿器科医など、その他の医者。医師合計＝精神科医あるいは一般医。その他の専門家＝心理士、ソーシャルワーカー、カウンセラー、心理療法家のようなその他のメンタルヘルスの専門家、看護師、医療助手など(その他)の医療専門家。その他の相談先＝お坊さん、牧師などの宗教家、漢方医、整体師、心霊術師、霊ばい師などその他の治療家。相談先合計＝以上のいずれかの受診・相談先。

表19: DSM-IVによる診断別のこころの健康に関する受診・相談行動の頻度

	これまでの生涯		過去12ヶ月間		過去30日間	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
大うつ病性障害	(N=259)		(N=88)		(N=14)	
精神科医	18.9%	49	14.8%	13	0.0%	0
一般医	12.7%	33	6.8%	6	7.1%	1
医師合計	29.0%	75	21.6%	19	7.1%	1
その他の専門家	8.1%	21	6.8%	6	7.1%	1
その他の相談先	8.9%	23	5.7%	5	0.0%	0
相談先合計	36.3%	94	27.3%	24	14.3%	2
いずれかの気分障害	(N=366)		(N=129)		(N=26)	
精神科医	18.3%	67	11.6%	15	0.0%	0
一般医	13.1%	48	7.8%	10	11.5%	3
医師合計	27.9%	102	18.6%	24	11.5%	3
その他の専門家	7.9%	29	6.2%	8	3.8%	1
その他の相談先	7.7%	28	4.7%	6	3.8%	1
相談先合計	33.9%	124	22.5%	29	15.4%	4
いずれかの不安障害	(N=276)		(N=166)		(N=106)	
精神科医	17.0%	47	7.2%	12	4.7%	5
一般医	19.2%	53	10.8%	18	0.9%	1
医師合計	30.4%	84	15.7%	26	5.7%	6
その他の専門家	7.2%	20	4.8%	8	0.0%	0
その他の相談先	7.6%	21	3.6%	6	0.9%	1
相談先合計	36.6%	101	18.7%	31	5.7%	6
いずれかの物質関連障害	(N=167)		(N=21)		(N=6)	
精神科医	16.2%	27	9.5%	2	16.7%	1
一般医	7.2%	12	14.3%	3	0.0%	0
医師合計	21.0%	35	23.8%	5	16.7%	1
その他の専門家	3.6%	6	4.8%	1	0.0%	0
その他の相談先	3.6%	6	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	22.8%	38	23.8%	5	16.7%	1
いずれかの精神障害	(N=711)		(N=297)		(N=143)	
精神科医	14.6%	104	7.7%	23	3.5%	5
一般医	12.2%	87	8.8%	26	2.8%	4
医師合計	23.8%	169	14.8%	44	6.3%	9
その他の専門家	5.8%	41	4.0%	12	0.7%	1
その他の相談先	5.8%	41	3.0%	9	1.4%	2
相談先合計	28.8%	205	17.5%	52	7.0%	10

\*「これまでの生涯」＝生涯診断ありの者の中でのこれまでに受診経験ありの者の割合。

「過去12ヶ月間」＝過去12ヶ月間に診断ありの者の中で過去12ヶ月間に受診経験ありの者の割合。

「過去30日間」＝過去30日間に診断ありの者の中で過去30日間に受診経験ありの者の割合。

注1: 疾患グループは以下のとおり。いずれかの気分障害＝大うつ病、小うつ病、躁病エピソード、双極I型障害、軽躁病エピソード、双極II型障害、気分変調性障害、焦燥性大うつ病、焦燥性小うつ病。いずれかの不安障害＝パニック障害、広場恐怖、社会恐怖、特定の恐怖症、全般性不安障害、外傷後ストレス障害。いずれかの物質関連障害＝アルコール乱用あるいは依存症、薬物乱用あるいは依存症。いずれかの精神障害＝以上のいずれかの精神障害＋間欠性爆発性障害。

注2: 受診・相談先は表18を参照のこと。

表20:ICD-10による診断別のこころの健康に関する受診・相談行動の頻度

	これまでの生涯		過去12ヶ月間		過去30日間	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
重症うつ病エピソード	(N=111)		(N=40)		(N=7)	
精神科医	22.5%	25	12.5%	5	0.0%	0
一般医	9.9%	11	0.0%	0	0.0%	0
医師合計	27.9%	31	12.5%	5	0.0%	0
その他の専門家	8.1%	9	2.5%	1	0.0%	0
その他の相談先	10.8%	12	2.5%	1	0.0%	0
相談先合計	36.9%	41	17.5%	7	0.0%	0
全てのうつ病エピソード	(N=274)		(N=87)		(N=10)	
精神科医	18.6%	51	13.8%	12	0.0%	0
一般医	12.8%	35	8.0%	7	10.0%	1
医師合計	28.5%	78	21.8%	19	10.0%	1
その他の専門家	7.3%	20	4.6%	4	0.0%	0
その他の相談先	7.7%	21	4.6%	4	0.0%	0
相談先合計	34.7%	95	24.1%	21	10.0%	1
いずれかの気分障害	(N=310)		(N=104)		(N=21)	
精神科医	20.3%	63	13.5%	14	4.8%	1
一般医	13.9%	43	8.7%	9	9.5%	2
医師合計	30.3%	94	21.2%	22	14.3%	3
その他の専門家	8.7%	27	4.8%	5	4.8%	1
その他の相談先	8.4%	26	4.8%	5	4.8%	1
相談先合計	36.8%	114	24.0%	25	19.0%	4
いずれかの神経症性・ストレス性障害	(N=382)		(N=223)		(N=153)	
精神科医	15.4%	59	6.7%	15	3.3%	5
一般医	16.8%	64	9.9%	22	2.0%	3
医師合計	26.7%	102	13.9%	31	5.2%	8
その他の専門家	6.8%	26	4.0%	9	0.7%	1
その他の相談先	9.2%	35	4.0%	9	1.3%	2
相談先合計	33.8%	129	16.6%	37	5.2%	8
いずれかの精神作用物質による障害	(N=169)		(N=23)		(N=7)	
精神科医	16.0%	27	8.7%	2	14.3%	1
一般医	7.1%	12	13.0%	3	0.0%	0
医師合計	20.7%	35	21.7%	5	14.3%	1
その他の専門家	3.6%	6	4.3%	1	0.0%	0
その他の相談先	3.6%	6	0.0%	0	0.0%	0
相談先合計	22.5%	38	21.7%	5	14.3%	1
いずれかの精神障害	(N=704)		(N=309)		(N=171)	
精神科医	14.8%	104	7.1%	22	2.9%	5
一般医	13.1%	92	9.4%	29	2.3%	4
医師合計	24.3%	171	14.6%	45	5.3%	9
その他の専門家	5.5%	39	3.2%	10	1.2%	2
その他の相談先	6.5%	46	3.2%	10	1.2%	2
相談先合計	30.0%	211	16.8%	52	5.8%	10

\*「これまでの生涯」＝生涯診断ありの者の中でのこれまでに受診経験ありの者の割合。

「過去12ヶ月間」＝過去12ヶ月間に診断ありの者の中で過去12ヶ月間に受診経験ありの者の割合。

「過去30日間」＝過去30日間に診断ありの者の中で過去30日間に受診経験ありの者の割合。

注1:疾患グループは以下のとおり。いずれかの気分障害＝うつ病エピソード、躁病エピソード、軽躁病エピソード、気分変調症。いずれかの神経症性・ストレス性障害＝パニック障害、広場恐怖、社会恐怖、特定の恐怖症、全般性不安障害、外傷後ストレス障害。いずれかの精神作用物質による障害＝アルコールの有害な使用あるいは依存症、薬物の有害な使用あるいは依存症。いずれかの精神障害＝以上のいずれかの精神障害。

注2:受診・相談先は表18を参照のこと。

表21: ころこの健康問題で専門家を受診することについての意識: 対象者から抽出された者に対する追加調査

	合計(N=1725)				性別		いずれかの精神障害 (DSM-IV診断)				
	人数	%	男性(N=761)		女性(N=964)		経験なし(N=1075)		経験あり(N=650)		
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
ころこの健康問題で専門家を受診するかどうか											
絶対に受ける	276	16.0%	112	14.7%	164	17.0%	167	15.5%	109	16.8%	
おそらく受ける	848	49.2%	352	46.3%	496	51.5%	548	51.0%	300	46.2%	
おそらく受けない	389	22.6%	180	23.7%	209	21.7%	227	21.1%	162	24.9%	
絶対に受けない	103	6.0%	61	8.0%	42	4.4%	60	5.6%	43	6.6%	
不明・拒否	109	6.3%	56	7.4%	53	5.5%	73	6.8%	36	5.5%	
専門家に対して自分の問題を心を開いて話せるか											
とても心を開いて話せる	677	39.2%	334	43.9%	343	35.6%	422	39.3%	255	39.2%	
いくらか心を開いて話せる	751	43.5%	278	36.5%	473	49.1%	477	44.4%	274	42.2%	
あまり心を開いて話せない	142	8.2%	69	9.1%	73	7.6%	75	7.0%	67	10.3%	
全く心を開いて話せない	39	2.3%	23	3.0%	16	1.7%	22	2.0%	17	2.6%	
不明・拒否	116	6.7%	57	7.5%	59	6.1%	79	7.3%	37	5.7%	
専門家を受診したことが友人にしたら恥ずかしいか											
とても恥ずかしい	161	9.3%	76	10.0%	85	8.8%	96	8.9%	65	10.0%	
いくらか恥ずかしい	585	33.9%	234	30.7%	351	36.4%	375	34.9%	210	32.3%	
あまり恥ずかしくない	520	30.1%	217	28.5%	303	31.4%	334	31.1%	186	28.6%	
全く恥ずかしくない	347	20.1%	176	23.1%	171	17.7%	191	17.8%	156	24.0%	
不明・拒否	112	6.5%	58	7.6%	54	5.6%	79	7.3%	33	5.1%	

\* 不明・拒否を除いて回答を2分したところ、男性で、専門家を受診しないと回答した者が多く(p<0.01)、心を開いて話せないと回答した者が多かった(p<0.05)。また、いずれかの精神障害の経験ありの者で、専門家を受診しないと回答した者が多く(p<0.05)、心を開いて話せないと回答した者が多かった(p<0.05)。それ以外は有意差はなかった。

表22:こころの健康問題による受診の遅れの理由:いずれかの精神疾患の経過

	受診しようと思って から4週間以上受診 しなかった者(64名)	
	割合	人数
自力で問題に対処したかった	69%	44
問題はひとりでに改善するだろうと思っていた	48%	31
その問題は最初、それほど困らなかった	47%	30
どこに行けば良いか、誰に見てもらえば良いかわからなかった	41%	26
自分が治療を受けている事が知られたら、他人がどう思うか心配だった	28%	18
治療には時間がかかったり、不便だと思った	25%	16
治療が、効果があるとは思わなかった	23%	15
交通手段、子供の世話、スケジュールなど治療にゆくことに支障があった	22%	14
費用がどれくらいかかるか心配だった	14%	9
以前に治療を受けたが、効果がなかった	11%	7
保険で治療が受けれないと思った	8%	5
予約が取れなかった	3%	2
意思に反して、病院に入れられるのが怖かった	2%	1
利用できるサービスに満足しなかった	2%	1
その他	25%	16

\* 受診した132名の受診までの期間は中央値2.6週(最小0週、最大371週)。

表23: 精神障害の経験者に対する薬物療法および精神療法の頻度

	経験者数	薬物療法		精神療法	
		人数	%	人数	%
生涯診断					
(DSM-IV)					
大うつ病性障害	259	64	24.7%	44	17.0%
いずれかの気分障害	366	87	23.8%	55	15.0%
いずれかの不安障害	276	66	23.9%	41	14.9%
いずれかの物質関連障害	167	32	19.2%	16	9.6%
いずれかの精神障害	711	140	19.7%	84	11.8%
(ICD-10)					
重症うつ病エピソード	111	26	23.4%	22	19.8%
全てのうつ病エピソード	274	65	23.7%	46	16.8%
いずれかの気分障害	310	80	25.8%	56	18.1%
いずれかの神経症性・ストレス性障害	382	82	21.5%	48	12.6%
いずれかの精神作用物質による障害	169	32	18.9%	16	9.5%
いずれかの精神障害	704	140	19.9%	83	11.8%
12ヶ月診断					
(DSM-IV)					
大うつ病性障害	88	26	29.5%	17	19.3%
いずれかの気分障害	129	33	25.6%	21	16.3%
いずれかの不安障害	166	36	21.7%	23	13.9%
いずれかの物質関連障害	21	6	28.6%	4	19.0%
いずれかの精神障害	297	64	21.5%	39	13.1%
(ICD-10)					
重症うつ病エピソード	40	8	20.0%	8	20.0%
全てのうつ病エピソード	87	24	27.6%	16	18.4%
いずれかの気分障害	104	29	27.9%	21	20.2%
いずれかの神経症性・ストレス性障害	223	46	20.6%	29	13.0%
いずれかの精神作用物質による障害	23	7	30.4%	4	17.4%
いずれかの精神障害	309	68	22.0%	40	12.9%
30日診断					
(DSM-IV)					
大うつ病性障害	14	5	35.7%	4	28.6%
いずれかの気分障害	26	8	30.8%	7	26.9%
いずれかの不安障害	106	22	20.8%	17	16.0%
いずれかの物質関連障害	6	1	16.7%	1	16.7%
いずれかの精神障害	143	31	21.7%	23	16.1%
(ICD-10)					
重症うつ病エピソード	7	1	14.3%	2	28.6%
全てのうつ病エピソード	10	3	30.0%	3	30.0%
いずれかの気分障害	21	9	42.9%	9	42.9%
いずれかの神経症性・ストレス性障害	153	28	18.3%	21	13.7%
いずれかの精神作用物質による障害	7	1	14.3%	1	14.3%
いずれかの精神障害	171	34	19.9%	27	15.8%

注: 薬物療法は、専門家からの処方や投薬による治療。精神療法は、30分以上のカウンセリングや心理療法。疾患グループは表19と20を参照のこと。

表24: DSM-IVによる12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた生活上の支障

	生活上の支障(0-10点)*				生活上の支障 の総計(0-40)
	自宅の管理	仕事・家事	親しい人間関係	地域・職場の関係	
<b>大うつ病性障害</b>					
度数	(69)	(63)	(72)	(71)	(57)
平均値	4.3	4.7	4.4	4.1	17.5
標準偏差	3.2	3.5	2.8	3.2	10.2
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	39
<b>いずれかの気分障害(抑うつ時)</b>					
度数	(89)	(80)	(91)	(89)	(73)
平均値	4.0	4.2	4.0	3.7	15.7
標準偏差	3.2	3.6	3.0	3.3	10.6
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	39
<b>躁病あるいは軽躁病エピソード</b>					
度数	(7)	(4)	(7)	(7)	(4)
平均値	3.4	6.0	1.9	5.3	15.5
標準偏差	3.0	3.2	2.9	3.5	3.1
最小値	0	3	0	0	13
最大値	8	10	8	10	20
<b>特定の恐怖症</b>					
度数	(85)	(80)	(86)	(86)	(78)
平均値	2.4	1.9	1.2	1.0	6.3
標準偏差	3.1	2.8	2.1	1.9	7.2
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	9	7	29
<b>社会恐怖</b>					
度数	(20)	(21)	(21)	(21)	(20)
平均値	2.2	4.4	3.9	4.5	14.1
標準偏差	2.5	3.5	3.3	3.2	9.4
最小値	0	0	0	0	0
最大値	8	10	10	10	31
<b>全般性不安障害</b>					
度数	(32)	(31)	(34)	(34)	(29)
平均値	3.6	5.2	3.7	3.4	15.9
標準偏差	3.2	3.2	3.7	3.2	10.3
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	40
<b>外傷後ストレス障害</b>					
度数	(6)	(4)	(6)	(5)	(4)
平均値	8.3	9.5	7.8	9.4	35.5
標準偏差	2.4	0.6	3.9	0.9	4.1
最小値	4	9	0	8	30
最大値	10	10	10	10	40
<b>間歇性爆発性障害</b>					
度数	(25)	(24)	(26)	(25)	(22)
平均値	1.3	1.8	2.5	1.3	6.9
標準偏差	1.6	2.3	3.1	2.4	7.6
最小値	0	0	0	0	0
最大値	5	9	10	9	20
<b>慢性の身体疾患**</b>					
度数	(932)	(861)	(960)	(940)	(827)
平均値	2.1	2.2	0.9	0.9	5.7
標準偏差	2.9	3.0	2.0	2.1	8.4
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	40

\* その状態のためにそれぞれの領域でどの程度生活に支障があったかたずねた。生活上の支障は Sheehan尺度で評価した。0点がまったく支障なし、10点が最大の支障ありを意味する。

\*\* 精神障害との比較のため、循環器疾患、がん、整形外科疾患など過去12ヶ月間に対象者が有する慢性の身体疾患のうちからランダムに1つを選んでその影響をたずねた。



表25: ICD-10による12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた生活上の支障

	生活上の支障(0-10点)*				生活上の支障 の総計(0-40)
	自宅の管理	仕事・家事	親しい人間関係	地域・職場の関係	
全てのうつ病エピソード					
度数	(74)	(67)	(76)	(76)	(62)
平均値	4.2	4.6	4.3	3.9	16.7
標準偏差	3.2	3.6	3.0	3.3	10.8
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	39
いずれかの気分(感情)障害(抑うつ時)					
度数	(83)	(74)	(85)	(83)	(67)
平均値	4.2	4.5	4.2	3.8	16.7
標準偏差	3.3	3.6	3.0	3.3	11.0
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	40
躁病あるいは軽躁病エピソード					
度数	(17)	(14)	(17)	(17)	(14)
平均値	4.8	5.3	3.7	5.2	19.3
標準偏差	3.4	3.9	3.0	3.4	8.8
最小値	0	0	0	0	9
最大値	10	10	10	10	40
特定の恐怖症					
度数	(113)	(107)	(114)	(114)	(106)
平均値	1.3	1.2	0.8	0.7	3.9
標準偏差	2.4	2.3	1.8	1.7	6.2
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	9	7	29
社会恐怖					
度数	(26)	(25)	(27)	(27)	(24)
平均値	1.2	2.9	2.1	2.8	8.4
標準偏差	1.9	3.5	2.9	3.2	8.3
最小値	0	0	0	0	0
最大値	6	10	10	10	31
全般性不安障害					
度数	(31)	(29)	(34)	(33)	(28)
平均値	3.5	4.7	3.5	3.9	15.3
標準偏差	3.2	3.6	3.1	3.1	9.8
最小値	0	0	0	0	0
最大値	9	10	10	9	34
外傷後ストレス障害					
度数	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
平均値	5.3	5.2	5.6	4.5	20.6
標準偏差	3.4	4.1	3.8	3.8	13.1
最小値	0	0	0	0	3
最大値	10	10	10	10	40
慢性の身体疾患(再掲)**					
度数	(932)	(861)	(960)	(940)	(827)
平均値	2.1	2.2	0.9	0.9	5.7
標準偏差	2.9	3.0	2.0	2.1	8.4
最小値	0	0	0	0	0
最大値	10	10	10	10	40

\* その状態のためにそれぞれの領域でどの程度生活に支障があったかたずねた。生活上の支障はSheehan尺度で評価した0点がまったく支障なし、10点が最大の支障ありを意味する。

\*\* 精神障害との比較のため、循環器疾患、がん、整形外科疾患など過去12ヶ月間に対象者が有する慢性の身体疾患のうちからランダムに1つを選んでその影響をたずねた。

表26:DSM-IVによる12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた一年間の休業日数

	年間の休業日数				
	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
大うつ病性障害	(76)	22.1	59.0	0	365
いずれかの気分障害(抑うつ時)	(96)	20.0	56.3	0	365
躁病あるいは軽躁病エピソード	(8)	0.4	1.1	0	3
特定の恐怖症	(87)	1.7	10.3	0	90
社会恐怖	(21)	11.1	34.8	0	160
全般性不安障害	(33)	10.3	18.7	0	60
外傷後ストレス障害	(5)	46.6	75.4	0	180
間歇性爆発性障害	(27)	0.3	0.8	0	3
慢性の身体疾患	(1000)	5.3	34.9	0	365

\* 精神障害との比較のため、循環器疾患、がん、整形外科疾患など過去12ヶ月間に対象者が有する慢性の身体疾患のうちからランダムに1つを選んでその影響をたずねた。

表27:ICD-10による12カ月診断ありの者における精神障害のために生じた一年間の休業日数

	年間の休業日数				
	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
全てのうつ病エピソード	(80)	20.9	57.7	0	365
いずれかの気分(感情)障害(抑うつ時)	(90)	21.0	57.9	0	365
躁病あるいは軽躁病エピソード	(17)	9.0	16.5	0	60
特定の恐怖症	(116)	1.3	9.0	0	90
社会恐怖	(26)	7.3	31.3	0	160
全般性不安障害	(34)	8.7	16.8	0	60
外傷後ストレス障害	(10)	30.1	57.3	0	180
慢性の身体疾患(再掲)	(1000)	5.3	34.9	0	365

\* 精神障害との比較のため、循環器疾患、がん、整形外科疾患など過去12ヶ月間に対象者が有する慢性の身体疾患のうちからランダムに1つを選んでその影響をたずねた。

表28: 過去1カ月間のストレス頻度

性別	年齢層	「この1カ月間に、不満、悩み、苦勞、ストレスなどがどのくらいありましたか」										再掲	
		大いにあった		多少あった		あまりない		まったくない		合計		度数	%
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%		
男性	20-34	42	14.7	142	49.8	74	26.0	27	9.5	285	100.0	184	64.6
	35-44	51	19.3	146	55.3	56	21.2	11	4.2	264	100.0	197	74.6
	45-54	60	16.0	178	47.6	106	28.3	30	8.0	374	100.0	238	63.6
	55-64	47	11.5	158	38.7	147	36.0	56	13.7	408	100.0	205	50.2
	65+	49	9.1	173	32.2	182	33.8	134	24.9	538	100.0	222	41.3
男性計		249	13.3	797	42.6	565	30.2	258	13.8	1869	100.0	1046	56.0
女性	20-34	64	16.1	233	58.5	82	20.6	19	4.8	398	100.0	297	74.6
	35-44	63	17.8	203	57.5	74	21.0	13	3.7	353	100.0	266	75.4
	45-54	85	20.7	213	51.8	94	22.9	19	4.6	411	100.0	298	72.5
	55-64	62	14.3	199	45.7	136	31.3	38	8.7	435	100.0	261	60.0
	65+	49	7.4	221	33.2	243	36.5	152	22.9	665	100.0	270	40.6
女性計		323	14.3	1069	47.3	629	27.8	241	10.7	2262	100.0	1392	61.5
合計		572	13.8	1866	45.2	1194	28.9	499	12.1	4131	100.0	2438	59.0

\* 過去1ヶ月のストレスが大いにあった「多少あった」と回答した者

注) 欠損値が存在するため面接完了者数より若干少ない。

表29: 身体的健康

性別	年齢層	「一般的に見て、あなたの身体的な健康は、きわめて良いですか、とても良いですか、良いですか、まあまあですか、それとも不健康ですか」										再掲			
		きわめて良い		とても良い		良い		まあまあ		不健康		合計	度数	%	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%				
男性	20-34	41	14.4	67	23.5	97	34.0	73	25.6	7	2.5	285	100.0	205	71.9
	35-44	12	4.5	33	12.5	92	34.8	107	40.5	20	7.6	264	100.0	137	51.9
	45-54	39	10.4	45	12.0	114	30.5	152	40.6	24	6.4	374	100.0	198	52.9
	55-64	37	9.1	44	10.8	126	30.9	172	42.2	29	7.1	408	100.0	207	50.7
	65+	44	8.1	46	8.5	163	30.2	241	44.6	46	8.5	540	100.0	253	46.9
男性計		173	9.2	235	12.6	592	31.6	745	39.8	126	6.7	1871	100.0	1000	53.4
女性	20-34	41	10.3	72	18.1	157	39.4	111	27.9	17	4.3	398	100.0	270	67.8
	35-44	25	7.1	67	19.0	132	37.4	108	30.6	21	5.9	353	100.0	224	63.5
	45-54	36	8.8	34	8.3	137	33.3	177	43.1	27	6.6	411	100.0	207	50.4
	55-64	39	9.0	35	8.0	141	32.4	199	45.7	21	4.8	435	100.0	215	49.4
	65+	53	8.0	41	6.2	197	29.6	333	50.1	41	6.2	665	100.0	291	43.8
女性計		194	8.6	249	11.0	764	33.8	928	41.0	127	5.6	2262	100.0	1207	53.4
合計		367	8.9	484	11.7	1356	32.8	1673	40.5	253	6.1	4133	100.0	2207	53.4

\* 身体的な健康が「きわめて良い」「とても良い」とあるいは「良い」と回答した者

注) 欠損値が存在するため面接完了者数より若干少ない。

表30: 精神的健康

性別	年齢層	さわめて良い		とても良い		良い		まあまあ		不健康		合計	再掲
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%		
男性	20-34	29	10.2	54	18.9	111	38.9	77	27.0	14	4.9	285	194
	35-44	8	3.0	31	11.7	109	41.3	99	37.5	17	6.4	264	148
	45-54	30	8.0	33	8.8	160	42.8	135	36.1	16	4.3	374	223
	55-64	33	8.1	55	13.5	182	44.6	119	29.2	19	4.7	408	270
	65+	67	12.4	80	14.8	185	34.3	190	35.2	18	3.3	540	332
男性計		167	8.9	253	13.5	747	39.9	620	33.1	84	4.5	1871	1167
女性	20-34	23	5.8	63	15.8	159	39.9	132	33.2	21	5.3	398	245
	35-44	15	4.2	41	11.6	139	39.4	140	39.7	18	5.1	353	195
	45-54	29	7.1	40	9.7	149	36.3	167	40.6	26	6.3	411	218
	55-64	44	10.1	37	8.5	163	37.5	172	39.5	19	4.4	435	244
	65+	70	10.5	69	10.4	247	37.2	262	39.5	16	2.4	664	386
女性計		181	8.0	250	11.1	857	37.9	873	38.6	100	4.4	2261	1288
合計		348	8.4	503	12.2	1604	38.8	1493	36.1	184	4.5	4132	2455

\* 精神的な健康が「さわめて良い」「とても良い」「あるいは「良い」と回答した者

注) 欠損値が存在するため面接完了者数より若干少ない。

表31: これまでの自殺関連行動の頻度

性別	年齢層	これまでに本気で自殺を考えた*		これまでに自殺の計画をたてた		これまでに自殺を試みた	
		度数	%	度数	%	度数	%
男性	20-34	29	10.2	7	2.5	4	1.4
	35-44	23	8.7	8	3.0	6	2.3
	45-54	40	10.7	3	0.8	3	0.8
	55-64	38	9.3	7	1.7	6	1.5
	65+	33	6.1	6	1.1	2	0.4
男性計		163	8.7	31	1.7	21	1.1
女性	20-34	55	13.9	10	2.5	9	2.3
	35-44	48	13.6	10	2.8	10	2.8
	45-54	50	12.2	6	1.5	10	2.4
	55-64	43	9.9	7	1.6	11	2.5
	65+	43	6.5	10	1.5	6	0.9
女性計		239	10.6	43	1.9	46	2.0
合計		402	9.7	74	1.8	67	1.6

注) 自殺についての質問の回答を拒否した者が存在したため解析人数が全対象者数より少なくなっている